

CASBEE-建築(新築)2016年版
豊四季台団地(建替)第IV期

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE 柏2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境					0.40		-	2.9
1 音環境				3.0	0.15	3.1	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音				3.0	0.50	3.3	0.50	
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		界壁遮音性能D50を確保		-	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		RC戸境壁厚180以上+木軸の二重壁仕様		5.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				1.0	-	1.0	-	
2 温熱環境				1.6	0.35	2.0	1.00	1.9
2.1 室温制御				1.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温				-	-	-	-	
2 外皮性能				1.0	1.00	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式				3.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境				2.2	0.25	3.7	1.00	3.4
3.1 屋光利用				4.2	0.30	4.0	0.35	
1 屋光率		共用部、専有部共にLv5を確保		5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口				-	-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.35	
1 屋光制御		カーテン及びバルコニーの底を組合せることでグレアを制御してい		2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度				1.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御				1.0	0.25	3.0	0.29	
4 空気質環境				3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆を多くの部位に採用する計		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御				-	-	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.0
1 機能性				3.0	0.40	3.0	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性				-	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応				-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観				2.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		住宅性能表示制度「3-1劣化対策」等級3を取得予定		5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		「給水PEP(B)、汚水排水VP(B)、雑排水VP(B)、Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.0	0.50	
	1 階高のゆとり		2.0	-	3.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ		3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.80	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		1.0	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60	-	-	2.7
	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体に鉄筋下地を組み、仕上げをすることで解体時等に分別が容易な計画とした。	4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20	-	-	2.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	化学物質排出把握管理促進法に該当しない建材種別が1つ以上ある	4.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		2.0	0.70	-	-	
	1 消火剤		1.0	0.33	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		2.0	0.33	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.1
1 地球温暖化への配慮			1.6	0.33	-	-	1.6
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
	2.1 大気汚染防止		-	-	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.67	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	歩行者動線と自動車のアプローチ動線を分離する計画とした。	4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		-	-	-	-	
	1 騒音		-	-	-	-	
	2 振動		-	-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.67	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		1.6	0.33	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうら外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	